

環境映画「KIZUKI」上映

2008年11月30日

受付 12時～12時40分 料金 300円

開始 13時 終了 15時15分 定員 400名

場所 交野市ゆうゆうセンター(交流ホール)



申込みは電話・FAX・メール。全席指定の為住所・氏名の確認をもって受付とさせていただきます。受付の際に予約番号をお伝え致しますので、費用は当日会場にてのお支払となります。申込み順に席を決定いたしますのでお早めにお申込みください。

注意

12時40分を過ぎますと予約番号が無効となり、当日申込みとなりますのでご注意ください。

これまで人間が「築き」あげてきた文明のなかのほころびに「気づき」これからの未来を「築いていく」少年の純粋な思いが、周囲の大人たちに勇気と気づきを与える。



大田圭輔 中村大地(子役)

福岡県の都市部に住む小学四年生。公団アパートに母と猫と暮らす。



大田正太郎 峰岸徹

圭輔の祖父であり豊の父。数年前に他界。



大田美香子 中嶋朋子

圭輔の母親。夫・豊とは三年前から別居。広告代理店で制作を担当。



大田豊 鶴見辰吾

地方都市の建設会社に勤務。沖縄県八嶋市(架空)の出身。

ストーリー 物語は、ある家庭の食卓で10歳の少年がひとり森林伐採、地球温暖化の危機などの衝撃的なテレビ映像を見る。そして少年は、亡くなった祖父との4年前の約束を思い出します。祖父と海岸を散歩する途中に見つけた不思議な種。祖父はその種を丘の上に埋め、この木が実をつけたら、種を少年の家の庭に埋めてほしいと頼んだのでした。両親の不仲が原因で孤独感を背負った少年は家を飛び出し、祖父と過ごした思い出の島へと向かいます。幼い子どもが1粒の種のためにたったひとりで旅をする。少年の純粋な思いが、周囲の大人たちに勇気と気づきを与えます。この叙情的な小さなエピソードを縦軸に、コンビニエンスストアでエコ商品を売るために奔走する企画部の女性社員、清掃活動に情熱を燃やすナチュラルリストと女優、地球温暖化とリゾート開発に苦悩するサンゴの研究者のエピソードが横軸となって展開する。

予約受付 10月15日から (TEL 072-893-1716 FAX 892-3247) メール katanokankyo-ivent@mbe.nifty.com 定員になり次第締切り

主催 かの環境フェスタ市民会議 後援 交野市 交野市教育委員会